

[ 資料 ] 過去の主な陸上交通災害

年別	事故発生日時	被害状況	死者数	重軽傷者数
1928年 昭和3年	9月4日 16時30分	床波駅で列車が正面衝突し、9名負傷した。		9人
1931年 昭和6年	4月7日	市内回りバスが琴川橋から厚東川に転落し。乗客5名中1名即死、全員重軽傷。	1人	4人
1939年 昭和14年	4月18日 3時半ごろ	東岐波門前の宇部線で、電車と車が衝突し、重軽傷者35名出す。		35人
1951年 昭和26年	12月10日	市営バスが、小野臼木バス停を発射してまもなくハンドルに故障を起こし、15mの崖下に転落、重軽傷者20人を出した。		20人
1952年 昭和27年	早朝	琴芝 - 宇部間の真締川東側踏切で電車トラックが衝突し、死者3名、重軽傷者23人出した。鉄橋も大破。	3人	23人
1953年 昭和28年	10月14日 10時過ぎ	小野宮ヶ峠で、市営バスが、崖崩れを避けたところ、10m下の田んぼに転落し18人重軽傷。		18人
1965年 昭和40年	4月24日	阿知須町岩倉の国道で、宇部高校2年生の女子生徒40人を乗せた観光バスが、1m下の田んぼに転落、24人の負傷者を出した。		24人
1967年 昭和42年	6月18日	東岐波火の山の山火事に急ぐ途中、西岐波江頭で、消防車がハンドルを切りそこない、約2m下の田んぼに転落し、5人が重軽傷。		5人
1967年 昭和42年	9月3日	山陽本線厚東-本由良間の上り線に普通トラックが転落、パトロール中の保線区員が、発炎筒で知らせ、惨事を防ぐ。		
1967年 昭和42年	11月18日	宇部駅で上り特急の寝台車が燃えたため消火に向かった消防団藤山分団の消防車が、帰路、厚南中洲郷の県道で横転、団員9人がなげ出され6人が重軽症。消防車は炎上。		6人
1996年 平成8年	2月3日	西岐波白土のJR宇部線白土第一踏切で軽四貨物自動車と小郡発宇部行き下り列車が衝突、軽四貨物は約150mひきずられて大破し、2人死亡。		
1996年 平成8年	8月18日 11時25分ごろ	西岐波区東吉沢の山口宇部有料道路で、山口宇部空港行き市営バスが、ガードレールを超えて道路わきのため池に転落。7人が軽いケガを負った。		7人

参考資料「報道七十五年宇部時報社」